

各区だより

千種区

ちくさ

悠遊塾
「ポッチャ」競技初優勝

1月26日開催予定の区老連健康講座を目前にして、新型コロナウイルス感染症の猛威は止まらず、またしても出ました「まん延防止等重点措置」宣言で健康講座は中止になってしまいました。普段、家の中に閉じこもっている高齢者には身体を動かすチャンスだったので、誠に残念と言いつかありません。

このようなコロナ禍で、3年前に学区で2つ目の老人クラブとして東山元町、唐山町の男女35名の高齢者が高木会長のもと悠遊塾を立ち上げました。3年後の現在も、コロナ禍にもかかわらず、仲良く元気よく活動している、私たちの老人クラブを紹介します。

コロナを吹き飛ばせとばかりに「社会奉仕」や「昔遊びの会」等に加えて、会創立の理念「楽しい友愛の集いの場とする」に基づき、春は花見、秋は紅葉狩



りと足の不自由な会員も車いすで参加しています。参加者が見え、楽しく活動できるよう元気な会員が交代で車いすを押したりして1日を過ごしております。

その他、スポーツも盛んで、積極的に区老連の大会に参加しています。その中、昨年12月22日の区老連主催のポッチャ大会で優勝という快挙をなしました。32チームが参加し、各チームが優勝を目指した中、チーム力で悠遊塾が優勝を勝ち取ることができました。

今後も、悠遊塾は健康維持と調和を目的としており、ポッチャ競技元年として広めてまいります。

(木下 靖雅)

東区

ひがし

文化のみち
宗春ゆかりの寺めぐり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東区老連の事業活動は止まったままに1年8カ月が経過し、感染状況がとりあえず落ち着いて令和3年10月に事業を再開させることができました。令和3年度最初の事業が、「文化のみち宗春ゆかりの寺めぐり」です。

10月26日はとても良く晴れた陽気の良い日でした。建中寺の境内には会員47名が集合し、6班に分かれて文化のみちガイドボランティアの皆さんの誘導により、出発しました。

いつも身近に見ている建中寺も江戸時代の大曾根の大火の後、再建されたこと、一般民衆のように見える小ぶりの無量寿



院では、尾張徳川家第7代藩主宗春公の御位牌をお守りしていること、また、養念寺では、歴代藩主の自筆の掛け軸のいくつかを見せていただくなど、会員の皆さんが感心することが続きました。

2時間ほどの行程で東区には尾張徳川家以来の歴史が残っているのを垣間見ることができましたが、同時に、仲間とその感動を分かち合うことができたことは、何よりの喜びでした。

コロナから身を守ることは長い持久戦ですが、仲間と共に笑い、明るい日々を過ごすために感染症対策のさまざまな工夫をしてくラブ活動を続けていきます。

(武田 伸)

